

**P** 〔单元の目標〕

- ・相手に伝わるように工夫しながら、自分や友だちの文房具など、学校で使う物や持ち物について、尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。

**D** 〔单元の目標の達成に向けた手立て〕

	手立て	資料
①	单元計画及び学習到達目標(CAN-DOリスト)を児童と共有する	A
②	学習到達目標に対応した言語活動等に応じたパフォーマンステストを位置付ける	B
③	採点の基準(ルーブリック)を児童と共有し、パフォーマンステストを実施する	C

**C** 〔单元の目標の達成状況〕

- ・单元計画及び学習到達目標(CAN-DOリスト)を共有することにより、児童が見通しをもって学習に向かうことができた。
- ・单元で扱う言語材料を使用する帯活動を位置付けたことにより、パフォーマンステストにおいて、单元で扱った言語材料を使用する児童が増えた。

**A** 〔改善の方向性〕

- ・表現内容に応じて、児童自身が言語材料を選択することができるよう、言語活動を工夫する必要がある。
- ・必要に応じて、学習状況を確認することができるよう、言語活動の様子を録画・視聴できる機会を位置付ける必要がある。

# 単元の目標の達成に向けた手立ての具体

## ①単元計画及び学習到達目標(CAN-DOリスト)を児童と共有する

### 〔児童（生徒）の活動〕

#### ○ 学習到達目標を確認する。

Unit5			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
CAN-DO LIST (できるリスト)			Do you have a pen?	Yes, I do. No, I don't.	歌をうたう
			文ぼう具を13種類言う	ふでばこの中身を聞き取る	
			持ち物をたずねたり、答えたりする	持ち物の数をたずねたり、答えたりする	
			ふでばこの中身あてクイズをする	「Pチ★」でふでばこの中身について先生と話す	

【資料A】 CAN-DO LIST (できるリスト)

#### ○ 単元の見通しをもつ。

Unit 5 Do you have a pen? ペンを持っていますか? 4年生

Do you have~? Yes, I do. No, I don't.  
を使って、持っているものを、たずねたり、答えたりできる。  
文房具を英語で言えるようになる。

- Unit5-1 文房具集めのゲームをしよう
- Unit5-2 登場人物の筆箱の中身を聞き取ろう
- Unit5-3 オリジナル文房具セットをしようかいしよう
- Unit5-4 筆箱の中身を伝えよう (パフォーマンステスト)

はっけり・正しく・思いやり・相手の目を見て

【資料B】 単元の計画

### 〔教師の指導〕

○ 単元で扱う言語材料等を用いて「何ができるようになるのか」を具体的に明記した学習到達目標(CAN-DOリスト)を示し、本単元で身に付けさせたい資質・能力を児童と共有する。

○ 単元計画及びデジタル教科書の授業シートを活用し、単元の見通しをもたせるとともに、毎時間の振り返り活動を位置付ける。

### 〔工夫点〕

○ 【資料A】にあるように、「CAN-DO LIST」に達成したカードを貼り付けることにより、自己の達成状況を振り返りやすくする。

○ 1人1台端末に、毎時間の振り返り内容を蓄積し、単元を通した自己の成長を実感できるようにする。

## 単元の目標の達成に向けた手立ての具体

②学習到達目標に対応した言語活動等に応じたパフォーマンステストを位置付ける

### 〔児童（生徒）の活動〕

- 動画、歌、教師とのやり取り等の言語活動を通して、単元で扱う言語材料を使用する。
  - ・ 動画視聴による発音(文房具)
  - ・ 歌(Do you have a pen?)
  - ・ 会話( Do you have～?)
- パフォーマンステストを見据えた言語活動に取り組む。
  - ・ 筆箱の中身に関するリスニング
  - ・ 持っているものを当てるゲーム
  - ・ 文房具の名称等を紹介

### 〔教師の指導〕

- デジタル教科書の授業シートで文房具を確認させ、発音を促す。
- デジタル教科書の授業シートで歌詞を確認させ、一緒に歌う。
- ALTとJETによるやり取り・発表のモデル提示した後、児童とやり取りをする。
- 言語活動に応じたパフォーマンステストを位置付けるとともに、言語活動を通して、児童に言語材料を繰り返し活用させる。
- 内容面及び言語面の指導を児童の実態や状況を踏まえ指導する。

### 〔工夫点〕

- 単元で扱う言語材料を使用する帯活動を位置付け、定着を図る。
- 児童が言語材料を自然に使用できるように、目的や場面、状況を設定する。

## 単元の目標の達成に向けた手立ての具体

③採点の基準(ルーブリック)を児童と共有し、パフォーマンステストを実施する

### 〔児童（生徒）の活動〕

- 採点の基準（ルーブリック）を確認する。
- 筆箱の中身について、相手に伝えるように教師及びALTと尋ねたり答えたりして伝え合う。
- パフォーマンステストの結果を基に学習内容を振り返る。

### 〔教師の指導〕

- 採点の基準(ルーブリック)を児童と共有する。

知識・技能	思考・判断・表現
発話の流暢さ	表現内容（考えの整理）
英語使用の正確さ	やり取りの内容

【資料C】採点の基準（ルーブリック）例

- 言語活動を通して、定着を図った言語材料等を活用し、児童がやり取りを行うよう促す。
- パフォーマンステストの結果を基に言語面・内容面から改善点等について指導する。

### 〔工夫点〕

- 採点の基準を児童に分かりやすい表現で示す。
- 考える時間を与えたり、ヒントを伝えたりすることにより、既習表現を用いて答えられるようにする。
- 児童の学習内容の振り返りにつながり、学習への意欲が向上するよう、児童の実態に応じた具体的な改善点等を指導する。